

FOREST

県民みんなで森を守るために

2003



高知県は「森林環境税」による取組をスタートします

高知県

WHY

何のために、その目的は？

① 森林には、次のような大切な働きがあります。



② 今、高知県の森林は

一人当たりの民有人工林面積



手入れの遅れた人工林の増加



森林の働きの低下

県民の生活環境への影響

③ 目指す森林の姿は

林道からの距離など、それぞれの森林の条件に応じた森づくりを進めます。

林業生産を繰り返し行う森林
資源の循環利用林



目指す姿
手入れされた人工林



生産条件が不利な中でも、
環境面の役割を安定して果たす森林
水土保全林



目指す姿
自然状態に近い森林



HOW

具体的には、
何をしますの？

県民、森林所有者の皆様のご理解と
ご協力をいただきながら、
高知の森を健全な姿に保っていきます。



森林環境保全事業

県民の皆様にご負担いただく貴重な新税を大切に使いながら、

森林の役割などをお伝えし、
森づくりにご参加いただく機会を広げる事業
※1「こうち山の日」の推進など

間伐など森林の手入れを働きかける事業

県民の皆様

森林所有者の皆様

森づくりの活動へのご参加
● 県産材の利用
● 森林ボランティア活動 など

支援

自らの森林を
適正に間伐

県の緊急整備事業

- 公益上重要で緊急性の高い森林で、県が強度な間伐
- 森林所有者と県が協定

高知の森林を健全に保全

その際には、
① 事業の内容、実施状況を県民の皆様に分かりやすく説明します
② 県民の皆様のご意見をお聞きし、事業に活かします

※1: 県では新たに「こうち山の日」を設け、森林の恵みや山村の姿を多くの方々に実感しご理解いただくよう、多彩な活動を進めることとしています。山の日の日や活動の中身は、今後、多くの県民の皆様のご意見をいただきながら、「山の日実行委員会」で検討し、決定していきます。

森林環境税の仕組み

県民税
(均等割の超過額)
139百万円
(単年度あたりの税収見込み)

積立

森林環境
保全基金

繰入

森林環境保全事業

県民参加の森づくり推進事業
森林環境緊急保全事業

事業過程をオープンに
事業に県民の意見を反映

森林環境保全基金運営委員会

県民の皆さんの意見や提案

- アンケート調査
- モニター制度の活用

納税者である県民や学識経験者の方に、事業計画や進み具合、制度のあり方などについて、ご意見やご提案をいただきます。

～ 透明性の確保と県民意見の反映 ～

県は、森林の環境面の機能を守る、
新たな取組をスタートします。